

# ジカウイルス感染症

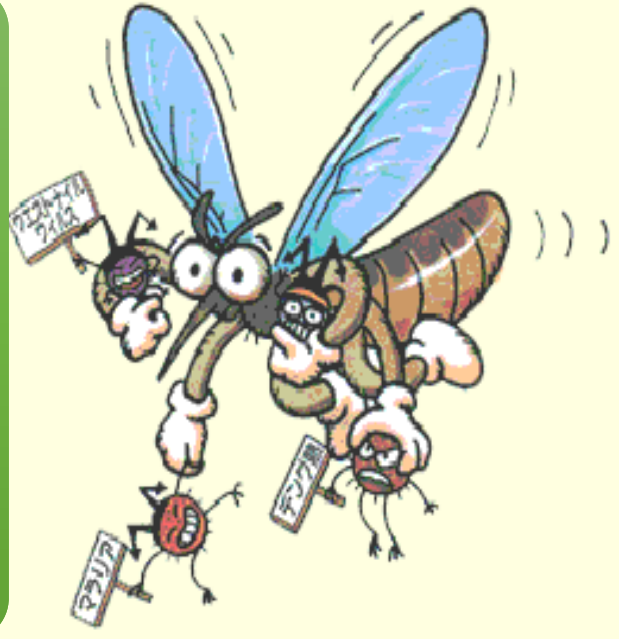
## Zika virus infection

ジカウイルス感染症は、ジカウイルス病と先天性ジカウイルス感染症をいいます。

ジカウイルス病は、後天的に、ジカウイルスが感染することにより起こる感染症で、軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛などが主な症状です。

ジカウイルスは母体から胎児への垂直感染を起こすことがあります（先天性ジカウイルス感染症）、小頭症などの先天性障害を起こす可能性があると考えられています。

流行地は、アフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域で発生しており、特に近年は中南米及びその周辺地域で流行しています。



### 病原体

- ジカウイルス



ネッタイシマカ



ヒトスジシマカ

### 感染経路

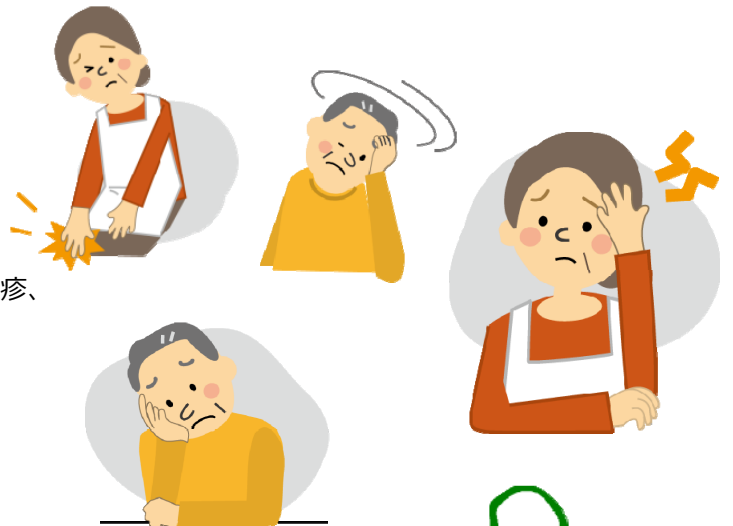
- ジカウイルスに感染したネッタイシマカ及びヒトスジシマカの蚊に刺されることにより感染します。希なケースとして、献血や性行為による感染が指摘されています。

### 潜伏期間

- 2～12日（多くは2～7日）

### 症状

- 主として軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などを呈します。
- これらの症状は軽く、2～7日続いて治ります。



### 予防法

**予防接種も予防薬もありません。**

**蚊に刺されないようにすることが唯一の予防法です。**

- 衣服は長袖、長ズボンなどで肌の露出を少なくする。
- 網戸・蚊帳を用いたり、昆虫忌避剤、殺虫剤、蚊取り線香などを使用する。  
※ 殺虫剤等で、ガス式・ポンプ式の物は機内への持ち込み制限があります。

